

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
<p>基本方針1 人・未来を 育むまちづくり</p>	<p>子育て支援</p>	<p>・子育て支援を充実させ、子どもを育てたいと思う瑞浪市にしてほしい。</p>	<p>現在、市のこども施策に係る総合的な計画にあたる、こども計画の策定を進めています。市民アンケートやワークショップ等を実施しながら、ニーズや課題を適切に把握し、効果的な事業の実施に努めます。</p>	<p>こども家庭課</p>
		<p>・未満児の保育料が高い。保育料無償化を検討してほしい。ファミリー・サポートセンターの利用価格を引き下げてほしい。</p>	<p>保育料等は、保育事業やファミリー・サポートセンター事業を安定的に維持していくために必要なため、今後も公平性を担保し適正な価格となるよう努めます。</p>	<p>こども家庭課</p>
		<p>・学童や児童生徒向けの施設の拡充、学校、組織、団体、家庭をトータルした子育てに、行政も積極的に関わってほしい。</p>	<p>現在、市のこども施策に係る総合的な計画にあたる、こども計画の策定を進めています。人口推移や市民ニーズを把握し、適切なサービスの量を確保すると共に、関係各機関とも連携し、こどもを生み、育てやすい環境づくりに努めます。</p>	<p>こども家庭課</p>
	<p>就学前教育・学校教育</p>	<p>・配偶者が平日休みのため、家族で出掛けることがなかなかできないので、今後瑞浪市でもラーケーションの日を利用できるようにしてほしい。</p>	<p>今後、県や近隣市の動向を注視しつつ、制度のメリット、デメリットを踏まえて検討していきます。</p>	<p>学校教育課</p>
	<p>生涯学習</p>	<p>・図書館が移転するのは残念。中高生は図書館を学習などで利用したいと思うが、利便性が良くないので塾や他市の施設を利用している。駅裏へ行くのは、安全性が心配。</p>	<p>駅北ロータリーの改良や、瑞浪駅の地下通路を明るくするなど、瑞浪駅の南北を安全快適に行き来できるよう計画していきます。</p>	<p>シティプロジェクト推進課 生涯学習課</p>
		<p>・現在の図書館は、時間を気にせず駐車できありがたいが、駅北に移転した場合、同じように駐車場は利用できるのか。図書館の内容よりも駐車場が必要だと思う。</p>	<p>図書館利用者は市営駅北駐車場の利用が可能となるよう計画していきます。現在の市営駅北駐車場は拡張する方針とし、より多くの自動車が駐車できるように計画していきます。利用料金についても、多くの方にとって利用しやすいものとなるように検討します。</p>	<p>シティプロジェクト推進課 生涯学習課</p>
		<p>・文化ホールは、規模拡大して色んなジャンルの催し物をお願いしたい。</p>	<p>現在の総合文化センター（中央公民館、市民図書館）は、瑞浪市公共施設等総合管理計画に基づき、複合集約化することで、現代のニーズに合わせ、使い易く、効率的に維持管理ができる施設に更新するため、施設規模の拡大はできませんが、誰もが気軽に立ち寄って時間を過ごすことができる居心地の良い空間を作り、多くの人に利用される複合施設を目指します。</p>	<p>生涯学習課</p>
	<p>文化・芸術・文化財</p>	<p>・文化センター、市民図書館の跡地はどのようになるのか。</p>	<p>跡地の活用については、現在のところ決まっておりません。今後も様々なご意見を参考に検討していきます。</p>	<p>生涯学習課</p>
			<p>・瑞浪市の歴史資料館など、総合的な施設をつくるのはどうか。</p>	<p>市民公園内の文化施設3館（化石博物館、陶磁資料館、市之瀬廣太記念美術館）の機能を集約した、新博物館の建設を目指しています。 サイエンスワールド横の市民プール跡地を建設候補地とし、今後、事業経費の目処がついた段階で基本構想の策定等に着手します。</p>

	協働のまちづくり	<p>・町内会の入会金や月会費が高いのでどうにかしてほしい。会費が負担となり退会される方も多い。</p>	<p>町内会の入会金や月会費等については、お住まいの自治会で取り決めをされているものであり、自治会内で話し合いを行っていただくこととなります。市としましては、話し合いをどのように行っていくかについて、相談いただければ、解決の糸口を見つけるお手伝いをさせていただきます。</p>	市民協働課
		<p>・民間ボランティア団体で、まちづくり活動をしている団体に市が助成を行うのはどうか。</p>	<p>市は、市民と行政との協働のまちづくりを進めるため、「瑞浪市夢づくり市民活動補助金」を交付し、まちづくり活動のような公益的活動を行う市民団体の活動に助成を行っています。今後は、制度を知っていただけるよう周知方法の改善を検討・実施します。</p>	市民協働課
		<p>・高齢者が多く、行事をやることが大変。町内一斉掃除や、お祭り等なかなかできない。地域の活動に、もっと市が介入してほしい。</p>	<p>ご指摘の地域の課題については、市としても認識しており、課題解決には、地域内での話し合いが不可欠です。今後は、当該話し合い促進のため、専門家の力を借りながら地域に寄り添った、伴走支援をしていきたいと考えています。</p>	市民協働課
基本方針2 魅力あふれる まちづくり	住環境	<p>・駅前活性化を図ってほしい。駅前商店街が寂しい。若者が集まるような商業施設を整備するなどもっと賑わうようにしてほしい。</p> <p>・駅前に花を植えてほしい。</p> <p>・瑞浪駅周辺の整備をしてほしい。毎日送迎車で駅前の道路が混雑して危険。駐車場をもっと設置してほしい。</p> <p>・瑞浪駅でバスを乗りかえる際、次のバスまでに時間がある時に、駅前に待つ場所がなくて困った。</p> <p>・瑞浪駅は上り下り両方へ改札口を作るなどすると便利になると思う。駅裏からも乗車できるようにしてほしい。</p> <p>・駅北地区複合公共施設の計画を再検討してほしい。なぜ移転するのか。利用しづらくなるし、不便になる。市の予算や市民の負担も考慮した事業展開をお願いしたい。</p>	<p>現在瑞浪駅周辺において、中心市街地に相応しい活気・魅力あるまちにしているため、新しいまちづくりを進めています。</p> <p>駅北地区には中央公民館の貸室等の機能と図書館を集約し、新たな機能を加えた複合公共施設を計画しています。誰もが気軽に立ち寄ることができる居心地の良い空間を作り、様々な目的の人に利用される複合公共施設を目指します。公共交通機関等により、多くの人を訪れることができる駅北地区に整備することで、利用者の利便性を図ることとしています。また、駅北駐車場については、公共施設の利用者にも対応できるよう、拡張を行う計画としています。さらに、地区の利便性を向上させるため、駅の北口改札の新設に向け、JR東海と協議を行っています。</p> <p>駅南地区には、地権者だけでなく新たに住みたい人も入居できるマンションと、飲食店などの店舗が入った再開発ビルを整備し、まちの利便性と魅力の向上を図ります。併せて、駅前広場の拡張と、歩道を含めたオープンスペースの整備を行い、居心地が良く、歩きたくなるまちなみとします。また、課題となっている朝夕の混雑の緩和を図るため、交差点改良や駅前広場の改修を計画しています。</p> <p>これらの事業を通じ、地域住民だけでなく、多くの人を訪れて憩い、利用できる場所とすることで、中心市街地として賑わうまちを目指します。</p>	シティプロジェクト推進課
		<p>・駅前の再開発には期待しているが、新しい公共施設は、瑞浪の産業や工業が発展するためのハブ的な施設にしてほしい。（起業家が使えるレンタルオフィスサービス、事業の相談所、事業提供ができるスペースの設置など）</p> <p>・駅前、駅北開発が挙がっているが、一番大切で重要なことは施設の維持、管理であることを申し伝えたい。</p> <p>・文化センター移転後、駅裏駐車場はどうなるのか。現状の駐車場規模は減らさないとほしい。</p>		

	<p>・空き家の利用を促進してほしい。共同オフィスとして貸し出す、市で空き家活用プロジェクトチームをつくる、助成金を出すなど。</p>	<p>市では空き家の利活用を図るため、空き家・空き地バンクを運営しています。また、空き家関連の補助金として、空き家等改修補助金制度、空き家家財道具等処分費補助金制度を設けており、空き家の利活用に繋げています。地域では、まちづくり推進組織を中心に空き家活用チームが発足されている地区もあり、協力して空き家の利活用を推進していきます。</p>	<p>シティ・ロケーション課</p>
	<p>・住宅耐震補強は、現状の予算内だと年間5～6軒の補強しかできないので、最低限命を守るために、シェルターベット（30万以内）などに補助を出して数を増やすのはどうか。</p>	<p>耐震シェルターや耐震ベッドの設置については、地震時に安全を確保する手段の一つとなります。しかしながら、補助制度のある県内市町村からの聞き取りでは、これまでに実績がほとんどないことから、現時点での制度の導入は考えておりません。今後も引き続き、住宅の耐震化に向けて社会情勢や市民ニーズの把握に努めます。</p>	<p>都市計画課</p>
<p>情報共有</p>	<p>・SNSを活用した市政の情報発信を進めてほしい。市議会のHPを見たが、議事内容が分かりにくく、議会だよりだけが情報源となっている。市政が頑張っていることは分かるが、それを市民に広くアピールする広報活動が若い世代に政治参画を促すきっかけになると思う。これからの将来を担う10代、20代の目につきやすい場での広報を進めるべき。</p>	<p>各課等において、InstagramやXなどを使ってイベント等の情報発信をしています。しかし、市公式SNS自体をご存知でない方もいますので、その周知にも努めてまいります。また、市議会に関連するSNS情報発信については、市議会議員、議会事務局において、現在検討を進めています。</p>	<p>シティ・ロケーション課 議会事務局</p>
<p>地域福祉・社会保障</p>	<p>・各地区の民生委員、福祉委員、相互間の情報提供が少ないと思う。</p>	<p>地域によっては、自治会、民生委員・児童委員、福祉委員により地域福祉に関する意見交換会、情報交換会等を開催している地区もあります。社会福祉協議会とも連携し、こうした情報交換、情報共有が各地域で行われるよう働きかけを行います。ただし、民生委員・児童委員は、守秘義務がありますので、すべてを情報共有するという事は難しい場合もあります。</p>	<p>社会福祉課</p>

基本方針3
生涯活躍の
まちづくり

健康・医療	<p>・医療制度、医療機関の充実を図ってほしい。近くに病院がない。東濃厚生病院の移転後、市内の救急医療の低下が心配。東濃厚生病院の代わりとなる医療体制を確保してほしい。</p>	<p>ＪＡ岐阜厚生連は、東濃厚生病院の後利用について、一次医療機関として診療所を継続する方向で検討しています。救急医療につきましては、「公立東濃中部医療センター」にて、現在より充実した形で救急医療が提供できる予定です。</p> <p>市内医療機関（診療所）数は、地区の差はあるものの県平均を上回っています。現在、厚生労働省では「上手な医療のかかり方.jp」として、一次医療機関（診療所）にかかりつけ医を持つこと、#7119（安心救急センター）の活用などを勧めています。将来にわたって医療を継続していくために、市民の皆様にも医療のかかり方について再確認いただければと思います。</p>	健康づくり課
	<p>・新病院への交通アクセスに不安を感じる。何か具体的な解決策（アクセス方法など）が明示されることを期待する。</p>	<p>市民の新病院への交通アクセスは最重要課題であると認識しており、運営を担うＪＡ岐阜厚生連によるシャトルバスの運行をお願いしているところです。</p>	健康づくり課
	<p>・東濃厚生病院の跡地を有効活用してもらいたい。市民が訪れやすく交流のできる場所や、介護施設や福祉・介護専門学校、看護学校を設立するのはどうか。</p>	<p>ＪＡ岐阜厚生連は、東濃厚生病院の後利用について、健診棟（南側の建物）を活用して、一次医療機関として診療所を継続する方向で検討しています。本館棟（病棟のある建物）については、地域活性化に役立つ活用を目指し、活用を望む事業者を探しています。後利用の最終的な決定については、土地・建物の所有者であるＪＡ岐阜厚生連が判断されます。</p>	健康づくり課
高齢者福祉	<p>・高齢者の今後に対する介護保険制度、利用できるサービスなどを家族向けにもっと発信してほしい。</p>	<p>介護保険制度や高齢者向けの事業等については、利用ガイドを作成し高齢福祉課窓口で配布している他、市ホームページや広報みずなみでお知らせしています。また、イベント開催時にはInstagramでも発信しています。今後も積極的な情報発信に努めます。介護保険、高齢者福祉に関することは、高齢福祉課へお気軽にお問合せください。</p>	高齢福祉課
	<p>・人手不足とされている介護士、看護師をこのまちで養成することはできない</p>	<p>市内には大学の看護学部があり、看護師養成がされています。</p> <p>現在看護師を含む医療職の不足が課題となっており、市としまして東濃西部広域行政事務組合にて、看護確保に係る修学資金の貸付を実施しています。</p>	健康づくり課

	<p>か。福祉大学、専門学校、看護学校の設立による若者の受け入れ、介護施設の増設など若者も高齢者にも安心して未来が想像できる瑞浪になると思う。</p>	<p>福祉系の大学等を誘致する計画は現在のところありませんが、介護人材の確保については課題として認識しています。住み慣れた地域でいつまでも自分らしく安心して過ごすことができる環境づくりを目指し、瑞浪市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、ニーズに応える施策を実施していきます。</p>	<p>高齢福祉課</p>
	<p>・耕作放棄地の活用を図ってほしい。特産品の開発や花畑やキャンプ場などをつくるのはどうか。活用方法については市内外問わず多くの意見を募ってほしい。</p>	<p>市では、耕作放棄地となった農地については、解消・再生することで農地として活用する場であると考え、解消費用を支援するなどの事業を実施しています。この事業を活用した農業者は、解消した農地で水稲や大豆、エゴマを生産するなど経営面積の拡大に繋がっています。また、きな粉やエゴマ油に加工して販売するなどの取組も実施し、農業経営の安定化・多角化も図っています。市としましては、今後も耕作放棄地を農地として再生、農業生産の再開する取組に対して積極的に支援していくことで、農業生産の拡大、ひいては特産品となる農産物の生産に繋がっていきたいと考えています。</p> <p>一方、農地は水源涵養や良好な景観の形成、自然環境の保全といった農産物の供給以外にも多面にわたる機能を有しています。そのため、不整形、狭小などといった農業生産性の低い農地については、景観作物として花きを植栽することも耕作放棄地対策の一つであると考えます。</p> <p>市では前述の取組等に基づいて所有者責任のもと管理をお願いしており、その活用は所有者の意向による部分もありますので、市での活用方法の募集については考えておりません。</p>	<p>農林課</p>

農林業	<p>・農業機械は年に1回しか使わない物も多く、購入やメンテナンスにかかる負担も大きい。JAと協力して市が貸し出し制度を作っていただけではないか。できればドローンやロボットを使って楽にできればありがたい。農作業が楽になれば、若い人の参加もしやすくなると思う。</p>	<p>田植機やコンバインなどといった農業用機械については、ほ場の面積や形状により機械の仕様も異なる上、使用時期も重なってしまいます。貸出制度を運用する場合は、面積に応じた機械が複数台必要となる上、メンテナンスや修繕も必要となり、市にて保管場所や管理人員等を確保することは困難でありますので、貸出制度を運用することはできません。</p> <p>こうしたことから市では、営農組合などの農業団体が農地を借り受けて耕作を実施する「利用集積」や、田植や稲刈りといった農作業を請け負う「作業受委託」により適正に農地が管理されるよう取り組んでおり、受け手となる農業団体等の機械導入に対する支援なども実施しています。</p> <p>一方、新たに農業を専業として始められる方に対しては、就農直後の経営確立に必要な資金や経営発展に必要な機械施設等の導入支援を実施するなど、若者の農業参入を促進する取組みを実施しています。</p> <p>今後もこれらの取組みを通じて、地域農業の維持・発展に努めていきます。</p>	農林課
	<p>・ここ数年イノシシによる被害が多いので、どうにかしてほしい。</p>	<p>鳥獣被害対策実施隊などの方々により捕獲をしておりますが、限界があります。農地に関しては、自衛のための電気牧柵購入費の補助や防護柵の貸出を行っています。その他に集落に隣接した森林を整備し、緩衝帯を設けることで被害の軽減が図れる場合もあります。森林整備の実施などイノシシの被害対策には、皆様のご協力が必要となりますので、一度農林課へご相談いただくとお願いいたします。</p>	農林課
商業	<p>・事業を始める時の市のサポートを充実してほしい。</p>	<p>創業支援内容をまとめた「創業支援事業計画」を策定し、商工会議所や地域の金融機関といった創業支援事業者と連携し、市内における創業を支援しています。具体的には、創業支援セミナーの開催や、市内で創業する際に必要な設備資金の一部を補助する補助金、また創業支援に関連する相談窓口を用意しています。</p>	商工観光課
工業	<p>・工場誘致や企業誘致、産業の育成に力を入れてほしい。若者の働く場の確保や雇用の活性化を推進してほしい。</p>	<p>明世町月吉地区において工場用地開発可能性調査を実施し、企業誘致可能な環境整備に努めてまいります。また、市内事業者の販路開拓を支援するとともに、地場産業支援も継続し、産業の育成に努めます。</p> <p>若者の働く場の確保については、市内企業の合同企業説明会を実施し、市内企業の魅力を発信するとともに、市内企業への就職と職場へ定着を目指します。</p>	商工観光課

基本方針4
活みなぎる
まちづくり

観光	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源が少ないと思う。サイエンスワールドを推したい。 	<p>令和4年度より、観光周遊も視野に入れた観光体験型コンテンツの造成に市内事業者の方と共に取り組んでいます。3年間の取り組みで、市内21の事業者の方が参加し観光誘客数増加及び観光満足度向上に貢献しています。</p>	商工観光課
	<ul style="list-style-type: none"> ・滞在型の体験施設（焼きもの体験、五平餅づくり、ゴルフレッスン等）をつくって、観光客を増やす試みはどうか。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・近年居住するエリアと同じエリア内で旅行している割合が増加している。もっと地元の良い所をアピールして、東濃地域全体で地元再発見などしてみてもどうか。 	<p>近隣6市1町（多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市、可児市、御嵩町）が連携し、東美濃歴史街道協議会を設立し、中京圏や首都圏をターゲットとした歴史や伝統文化、地域資源を活かした広域観光のPR活動を行っています。</p>	商工観光課
	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゴルフのまち」のキャッチコピーはやめたほうがいいと思う。住んでいる人が誇りを持てるキャッチコピーを考えてほしい。 	<p>本市の観光客の約50%がゴルフ場を利用しに来ていただいております。1億6千万円を超えるゴルフ場利用税交付金が本市に交付されております。そのような状況から、ゴルフは本市の基幹産業と考えております。「ゴルフの町PR実行委員会」も組織し、子どものころからゴルフを身近に感じられるよう市内全小学校でスナッグゴルフの授業やクラブ活動を推進しております。ゴルフ目的に訪いただいた方へ、ゴルフ以外で市内消費していただけるよう本市のPRを継続して行っていきます。</p>	商工観光課
	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフのまちと言いながら、ただゴルフ場が多いまちになっている。瑞浪市民がもっと優遇されるとか、老若男女が家族でもグループでも楽しくプレー出来る取り組みを行ってほしい。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・去年の七夕まつりのキッチンカーは残念だった。子どもたちがテキ屋でブラブラできる思い出に残るような七夕まつりに戻してほしい。 	<p>美濃源氏七夕まつりは市民の方々により実行委員会が組織され、開催されております。いただいた意見を実行委員会にお伝えします。</p>	商工観光課
	<ul style="list-style-type: none"> ・他の地域から観光やビジネスのお客さんが来ても、泊まれる場所がほとんどないから勿体無い。 	<p>宿泊施設は行政ではなく、建設されるかどうかは、採算性など様々な観点から民間事業者が判断されるものと思われます。市としては、新たに進出する企業の奨励金等により支援します。</p>	商工観光課
	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電設備の規制をしてほしい。 	<p>市では令和2年4月に「瑞浪市における再生可能エネルギー発電設備の設置と自然環境等の保全との調和に関する条例」を制定しており、土砂災害警戒区域等を事業抑制区域として指定して災害リスクの軽減を図るとともに、保守管理や廃棄処分に関する計画についても事前に確認することとしています。今後も引き続き、条例に基づいた対応をするとともに、国の機関である中部経済産業局とも連携した対応を行っていきます。</p>	都市計画課

環境保全・エネルギー	<p>・野焼きに困っている。規制していただけないか。</p>	<p>野焼きにつきましては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）により規制されていますので、市のホームページや広報誌への記事掲載やチラシの市内回覧を行い、野焼きを行わないよう周知を図っています。 しかしながら、廃掃法施行令第14条において、農業や林業において営むためにやむを得ないものとして行われる廃棄物の焼却は例外となる場合もありますので、環境課までご相談ください。</p>	環境課
	<p>・オオキンケイギクについて、国道や県道の中央分離帯や脇にたくさん見受けられる。国や県が他の草と一緒に刈ってしまわないようにと広報しているのに、民間委託で刈ってしまっている。</p>	<p>国道（国土交通省中部地方整備局多治見砂防国道事務所瑞浪国道維持出張所）、県道（岐阜県多治見土木事務所）に確認したところオオキンケイギクは先に抜根し、他の草とは別の袋に入れて処分しているとのことでした。</p>	環境課
公共交通	<p>・公共交通機関の整備、コミュニティバスの充実を図ってほしい。（増便、停留所の増加、ルートの再考、土日運行、時刻表をわかりやすくする、ネットでも見れるようにする、陶町と瑞浪駅を結ぶコミュニティバスの運行など）</p>	<p>昨年度、地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿を明らかにするマスタープランとしての役割を果たす、地域公共交通計画を策定しました。本計画では、市内の様々な交通機関を連携させ、市民のみなさんが使いやすく生活しやすい交通網を目指しています。 ご指摘の公共交通機関の整備やコミュニティバスの整備は、本市だけで取り組むには需要面や費用面等において限界があることから、公共交通を取り巻く様々な関係者（利用者、運行事業者等）と連携しながら、本計画に沿って取り組みます。</p>	商工観光課
	<p>・高齢者の運転免許返納を考えているが、車がないと不便な生活になってしまう。免許返納後の高齢者の移動手段の確保を考えてほしい。（バスの充実、乗り合わせタクシー、デマンド交通など）</p>	<p>現在、運転免許証を自主返納された方に5千円相当のバス回数券やタクシー利用券を進呈する支援事業を行っており、支援を受けられた方にアンケート調査を実施する等、事業への意見集約や返納後の移動実態の把握に努めています。また、昨年度策定した地域公共交通計画に基づき、移動手段を持たない方でも移動可能な地域公共交通ネットワークを目指してまいりますので、ご理解とご協力のほどよろしく申し上げます。</p>	商工観光課
	<p>・ライドシェアサービスを積極的に取り入れたらどうか。</p>	<p>ライドシェアの導入により、交通空白地の解消や運転手不足の解消等が期待されますが、地域・時間帯が限定されることや運転手がタクシー会社と雇用契約を結ぶ必要があるなど一定の制約があります。ライドシェアの導入は運行事業者、地域、行政が一体となって取り組む必要があることから、各主体の意向を確認しながら検討を進めます。</p>	商工観光課

基本方針5
持続可能な
まちづくり

<p>消防・防災</p>	<p>・瑞浪市として、避難場所の整備、防災倉庫の備蓄は充実しているか。市民も具体的にわかると安心する。特に清潔に利用できるトイレなど整備してほしい。</p>	<p>本市の南海トラフ地震の際に想定される避難者数は4,365人となっており、避難者の1日分の備蓄食約13,500食、飲料水約9,000ℓを備蓄しています。トイレに関しては、マンホールトイレを市内2ヶ所に52基設置、市内各所に組み立て式の簡易トイレ及びテント約120基を備蓄をしています。 なお、能登半島地震を受けてこれらの備蓄計画の見直しを今後行う予定です。また、避難場所、防災倉庫の設置場所、主な備蓄内容は市が発行する防災ガイドブックや市公式ホームページに掲載していますが、今後もさらに周知に努めます。</p>	<p>危機管理課</p>
<p>防犯・交通安全</p>	<p>・防犯灯が少ないので増やしてほしい。</p>	<p>防犯灯の設置は、自治会が行っています。 自治会が防犯灯を設置する際、市は設置費用の一部の補助を行っています。補助に関する要望等ありましたら、危機管理課までお問い合わせください。</p>	<p>危機管理課</p>
<p>行財政運営</p>	<p>・瑞浪市に住みたいと思える施策（医療福祉、子育て、教育など）を考えてほしい。瑞浪市に活気があふれ、明るい未来があることを願う。</p> <hr/> <p>・若い世代がもっと活躍できる、利用したいと思える環境をつくってほしい。 ・若者が瑞浪で働ける、住みやすいと思えるまちづくりをしてほしい。 ・若い世代が市外から移住してくれるような施策、支援を考えてほしい。人口増加に努めてほしい。</p>	<p>令和6～15年度を計画期間とした第7次瑞浪市総合計画を策定しました。本計画は、将来における本市のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針であり、自治体運営の最上位計画です。将来都市像を「幸せ実感都市みずなみ～いっしょに創ろう 夢ある未来～」と掲げ、人口が減少していく中でも市の活力を維持・向上させるべく、各種施策を展開します。 本計画の中では、特に戦略的・重点的に取り組むものとして「安心して子どもを産み育てられる環境づくり（子育て支援）」と「地域の魅力をオールみずなみで発信する（シティプロモーション）」を重点施策として掲げています。 子育て支援では、「みんなで守り、みんなで育む、みんなの笑顔が満ちる子育て」を基本理念とし、市民が心から「住んでよかった」「住み続けたい」と思えるような施策を展開します。 シティプロモーションでは、瑞浪市の特徴や魅力をSNSを含めた様々な情報媒体により、市内外に効果的にアピールし、人や企業に関心を持ってもらうことで、企業誘致や定着を図り、移住・定住を促進する施策を展開します。</p>	<p>企画政策課</p>